

■米国：PJM、CPPが電力安定供給を阻害しないとするレポートを発表

2016年9月2日付の記事によると、広域系統運用機関のPJMは既存火力発電所に対するCO₂排出を規制するクリーンパワープラン（CPP）が、PJMサービスエリア内の電力安定供給を脅かすような影響はないとするレポートを発表した。PJMはCPPに伴い数百万kWの石炭火力発電所が廃止になっても、新たな設備投資により十分な供給力を確保できると見通している。また、電気料金についても、電力市場全体の平均に対して1.1~3.3%程度の微小な上昇に留まると分析している。